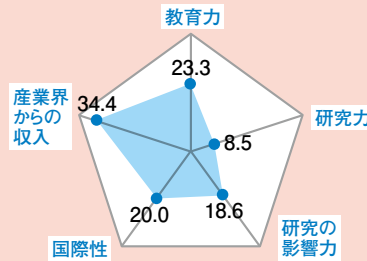


# 中央大学 Chuo University

## 指標スコアは客観的評価の一つ 強みの教育力を生かし国際化の推進を図る

### ランキング自体を 評価する視点を持つ

本学がTHE世界大学ランキングにエントリーしたのは今回が初めてです。他社のものも含めて国際大学ランキングには、2009年ごろから注目をしており、その重要性も認識していましたが、大学として一定の距離を置いてきました。各ランキングの信頼性が把握できるまでは踏み込むべきでない判断したからです。



指標	ポイント	ランキング	その他指標
総合	<18.5	801+位	ST比率 / 38.8
教育力	23.3	501-600位	留学生の割合 / 4%
研究力	8.5	801+位	
研究の影響力	18.6	601-800位	女男比 / 34 : 66
国際性	20.0	801+位	
産業界からの収入	34.4	601-800位	

ランキング担当部署: 学事部企画課、国際センター事務室、広報室

\*データは全て THE 世界大学ランキング 2016-17 に基づく

2015年秋に中期事業計画『Chuo Vision 2025』を策定し、基本方針の一つとして「グローバル化の推進」を掲げました。同じタイミングで、参加すべきランキングの見極めができたこともあり、今回からエントリーしました。

順位を上げることのみを目的として特別なアクションを起こすことは考えていません。指標のスコアから見えてきた課題は「英語の研究論文数」「外国人研究者との共著論文数」と「学内環境の国際化」です。研究やキャンパスの国際化は中期事業計画『Chuo Vision 2025』とも重なる部分です。計画に沿って、本来果たすべきことに取り組めば、ランキングにより影響が出ると考えます。

### 強みを生かしつつ バランスの取れた改革を

本学はスーパーグローバル大学

に採択されおらず、学内予算や寄付金等を用いながらグローバル化を推進しています。採択大学のスコアを参考に、客観的指標における本学のグローバル化の進捗を確認しつつ、学問的な国際化の深度を深めたいと思います。

当面の課題は学内の国際化です。そこで、アジアの学生とともに環境や社会のサステナビリティについて英語で学修し、その後留学をする「Global LEAP」や、国際共同学位の構築を行います。また、本学は司法試験や公認会計士試験の合格実績に定評があります。これまでの留学を中心とした国際人教育に加えて、資格取得をめざす学生でも国際舞台で通用する力を付けることを可能にする、全ての科目を英語等で教える「グローバルFLP」を計画しています。全体バランスを考え、グローバル化に向けた改革を進めます。



副学長・国際センター所長  
武石智香子

たけいしちかこ ● 1985年早稲田大学文学部卒業後、株式会社総合研究所にて経験を積み、1999年ハートランド大学大学院社会学研究科にて博士号(PHD)を取得。2001年より中央大学学術部専任講師、2013年より同教授、2014年11月より現職。専門は知識社会学、文化社会学。